

Nice

Senior Suwa

No.143

令和3年3月15日発行

発行者：公益財団法人長野県長寿社会開発センター 諏訪シニア賛助会 会長・矢島昭弘  
〒392-8601 長野県諏訪市上川 1-1644-10 諏訪保健福祉事務所福祉課内 TEL0266-57-2910 FAX0266-57-2963

## 令和2年年度臨時総会開催 会則改正や令和2年度・3年度の役員を承認



昨年度3月31日の役員会決議に基づき本部機能を休止していた諏訪シニア賛助会は、今年度6月15日開催の第1回グループ長会において「新たな体制をつくり、とまかく1歩を踏み出そう」との方向に意見を集約し、以後、歴代役員やグループ長の方々と新体制構築に向けて意見を調整してきました。

「会員確保に向けてシニア大学とはつながってほしい」「活動発表会に参加することが張り合いで活動しているのだから、本部が音頭をとって発表会を開催してほしい」などの声を受けて、だれもが役員のできるような体質に改善するために、役員選考準備委員会やグループ長会でさまざまな議論がつけられました。

こうした経緯をふまえ、10月7日開催の第3回

グループ長会が開催され、役員のリレー制を審議採決されました。またその場で承認された新三役が中心となって作成した改正会則案が、年が改まった1月13日開催の臨時総会において出席者全員の賛成により正式に採決されました。

本部活動休止の根本原因であった「役員のリレー制がない」事情を克服するために、役員の人数を最小限とし、その職務については「誰もが、できることを、できる範囲で」を主眼に、すべてのグループから正副会長候補を選出するリレー制を採用することとしました。

この規定により、令和2年度・3年度の会長にはいきいき健康グループの矢島昭弘さん、副会長にボランティア若竹の百瀬アキ子さんとスタンドグラスの会の佐藤正昭さんが承認されました。

## 諏訪シニア賛助会 令和 2 年度・3 年度三役抱負



### 広く門戸の開かれた賛助会活動を

諏訪シニア賛助会会長 矢島 昭弘

今年の賛助会再発足の総会において、今後役員は輪番制で選出し、「誰もができることをできる範囲で」のキャッチフレーズのもと、楽しく役員の仕事をする制度とすることが採決されました。

私の任期中の活動は第 30 回記念活動発表会を中心とするものになりますが、昨年度末から今年度にかけて相当数のグループが退会するという危機、更にコロナ危機という 2 重の危機に直面し

ていることなどを考えると、新しい発想が必要になると思います。

その 1 つとして、私たちの活動の対象は、賛助会に参加しているグループや構成員ばかりとするのではなく、対象をより広く地域に拡大していくことが求められていると思います。センターが目指す「豊かで活力あるすべての高齢者に貢献する」という趣旨とも合致します。併せてシニア大生との連携や、賛助会員の団結も大切にしたいと考えております。はたして具体的にはどのような活動になるか。苦悩と楽しみの 1 年になりそうです。

### 心と心が通い合う仲間づくり

諏訪シニア賛助会副会長 百瀬 アキ子



シニア大学を卒業後すぐに賛助会のグループ 2 つに入会しました。

1 つは 30 年の誇りを持つ水墨画グループ「墨寿会」です。発足当時は 100 人の会員がいて午前午後と 1 日中の勉強をしたそうです。今高齢化が進み会員も減少しましたが 30 年続いている方々は「ここへ来ると仲間がいて楽しみだ」と嬉しそうに話しています。

もう 1 つのグループは「ボランティア若竹」です。この 2 つのグループは仲間とともに社会貢献活動に汗するなかで、長野県長寿社会開発センターの目指す「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の創出」を実践しています。

今年役員に推薦され、誰もが気負うことなく仲間とともに賛助会を盛りあげられる体制にもっていかれたらと願っています。

### 活動発表会の燈火をいつまでも

諏訪シニア賛助会副会長 佐藤 正昭



活動発表会の開催に初一念を貫きたいと考えています。各グループが一堂に会し、お互いを認めあい、ある時は競いあい、刺激しあいながら共存していく。これが諏訪シニア賛助会の醍醐味ではないでしょうか。

この燈火を絶やしてはいけないと思います。

今回の第 29 回活動発表会は、グループ数の減少により、こじんまりとした規模でしたが、それぞれに工夫を凝らし、新鮮味のある発表でした。

また、平成 30 年度に私が所属するゴルフ愛好会が中心となって支部対抗ゴルフコンペを創設しました。県内の他支部の方々との交流により、新たな仲間の輪を広げることができました。今年度もコロナ下とはいえ 36 名の参加者を得て盛大に開催されました。こうした輪がさらに広がり、いくつもできていけばと願っています。

# 2020 信州ねんりんピック高齢者作品展

## 「墨寿会」所属の百瀬アキ子さん 日本画の部で知事賞受賞

コロナ禍にあってさまざまな長寿社会開発センターのイベントが中止となるなか、例年開催されていた信州ねんりんピック高齢者作品展も、文化・芸術交流大会の会場で展示することができず、ホームページに全作品を掲示するという苦肉の策での開催となりました。諏訪からは日本画の部に 4 作品、洋画の部 3 作品、手工芸 1、書 1、写真 1 の 10 作品の応募がありました。

11 月 11 日、12 日、長野県長寿社会開発センターで行われた審査会において、諏訪支部関係では「秋日のまどろみ」との画題で日本画の部に応募された百瀬アキ子さんの作品が最高賞の知事賞を受賞されたのをはじめ、下表のとおり 5 名の方々が入賞されました。

年が改まって令和 3 年、1 月 13 日に賛助会の総会に合わせて賞状授与式を計画。各受賞者の皆



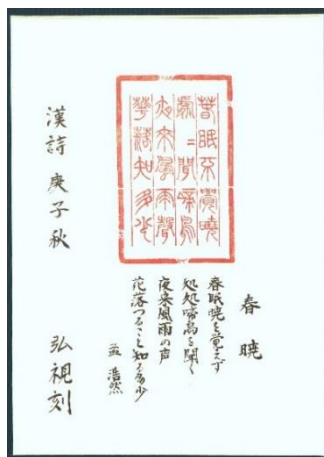
宮村常務から賞状を受ける百瀬さん

さんに招待状を送りました。準備万端相整えたものの、11 日から 12 日にかけて諏訪地方でコロナ感染者が急増し、急遽百瀬さん 1 人に賞状を授与し、残りの 4 名の方々には日を改めて大林君雄諏訪支部長より賞状が授与されました。受賞作は 14 日から 19 日まで諏訪合同庁舎 1 階ロビーに展示されました。

部門	賞	作品名	受賞者氏名	居住地
日本画	長野県知事賞	秋日のまどろみ	百瀬アキ子	岡谷市
日本画	奨励賞	蓮の花	中林万寿子	岡谷市
書	長野県共同募金会会長賞	春暁 春眠不覚暁	藤原 弘視	岡谷市
洋画	奨励賞	忍野八海からの富士	和田 典治	富士見町
手工芸	奨励賞	切絵 高山のチョウ	吉田 徳人	岡谷市



中林万寿子さん  
「蓮の花」



藤原弘視さん作  
「春暁 春眠不覚暁」



和田典治さん作  
「忍野八海からの富士」



吉田徳人さん作  
「切絵 高山のチョウ」



### 山椒は小粒でもピリリと辛く

ちょうど 10 年前 2011 年 3 月 11 日、東日本大震災のあった追悼記念日に、茅野市民館にて諏訪シニア賛助会の第 29 回活動発表会が開催されました。

かつて 40 を超えるグループが一堂に会し、前日から展示の飾り付けやステージ発表のリハーサルで大賑わいの準備をしましたが、今回は開催日の午前中に準備をし、午後 1 時から 3 時まで、ステージと展示ブースに分かれて発表をしました。



ステージではこの 2 月に新しいグループとして発足した「カラオケを楽しむ会」のメンバー 5 人が十八番を披露し、「ボランティア若竹」はこの街学園でのボランティア活動報告と健康ダンス、「エスペランサ」が元年 9 月の発足以来のボランティア活動をプロジェクターで報告、最後に「太極柔力球同好会」が日頃の練習成果を発表しました。

「カラオケを楽しむ会」全員が歌い終えて観衆に一礼



「ボランティア若竹」活動報告

展示ブース「アトリエ」では「墨寿会」と「スタンドグラスの会」が作品を展示し、「太極柔力球同好会」「ボランティア若竹」「いきいき健康」が模造紙で活動報告を発表。なかでも「エスペランサ」がマスクやバッグなど自作グッズを販売するコーナーを設営し、15,000 円の売り上げを計上し

たことは特筆されることでした。

従来のお祭りの華やかさとは趣を大きく変えた今年の活動発表会でしたが、長野県長寿社会開発センターが標榜する「社会に貢献するシニア活動の創出」に対応した、新しい諏訪シニア賛助会の発足にふさわしい活動発表会でした。



## 諏訪支部チーム惜敗

### 長野県長寿社会開発センター支部対抗ゴルフコンペ

平成 30 年 10 月 15 に第 1 回大会を開催した長野県長寿社会開発センター支部対抗ゴルフコンペは、昨令和元年度は伊那支部が幹事役を担い 10 月 25 日の開催を目指して計画されま



したが、当日の大雨のため中止となりました。今年度は 9 月に入って飯伊支部メンバーから声があがり、急遽 11 月 10 日に諏訪湖カントリークラブにおいて再度第 2 回大会として開催しました。

当日は好天にも恵まれ、4 支部から 36 名のシニア大 OB、賛助会員ゴルファーが集い、支部の名譽を背負って団体戦、個人戦に挑みました。

結果は県アマにも出場するほどの精鋭を揃えた佐久支部(参加者 7 名)がネット平均 74.2 で、74.9 と健闘した諏訪支部(同 20 名)を僅差で押さえて団体戦を制し、優勝カップを持ち帰りました。以下、77.7 の伊那支部(同 6 名)が 3 位、78.3 の飯伊支部(同 3 名)が 4 位の順でした。

個人戦では諏訪支部の菊池勝子さんがネット

66.4 (グロス 89、ハンディ 22.6) のスコアで優勝。2 位には佐久支部の今井しげりさん、3 位に諏訪支部の藤森とし子さんが入賞しました。ベストグロ賞は諏訪支部の山田勝次さんが 83 で獲得。

諏訪支部は賛助会員グループに諏訪長寿ゴルフ愛好会が組織され、毎月例会を開いています。佐久、伊那、飯伊ではシニア大卒業生有志が定期的に集まりコンペを開催しているとのこと。長野県長寿社会開発センターの事業がとりもった縁により各支部で新たなゴルフ仲間ができ、健康づくりにいそしみながら友情を育てているそうです。そういった輪をさらに広げて、全県の仲間が一堂に会して本当の意味での支部対抗ゴルフコンペが開催されることが期待されています。

#### 退任にあたり

長野県長寿社会開発センター諏訪支部社会活動推進員の小口修平はこの 3 月をもって 5 年の任期を満了し、退任します。

さまざまな葛藤を経るなか、今回の活動発表会の最後に矢島会長から感謝の言葉をいただき、太極柔力球の今井グループ長から大きな花束をいただきました。最後まで小口と歩みをとりにして下さった方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

